

特集

- 私のだざいふ、市政ニュース … 2~3
- 令和3年6月市議会市長提案理由説明 … 4~5
- 新型コロナウイルスワクチンの接種について … 6
- 7月は和同問題啓発強調月間です … 7
- 災害リスクに備えた対応について … 8~9
- ランチサービス無料試食会を開催しています … 10
- 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費を補助します … 11
- 後期高齢者医療保険のお知らせ … 12~13
- 介護保険料の軽減制度に関するお知らせ … 14
- 市からのお知らせ … 15~22
- 連載 … 23~31
- なんでも情報コーナー … 32~39
- 太宰府の文化財 … 40

私のだざいふ

太宰府市人権尊重のまちづくり推進審議会会長

くりやま としゆき
栗山 俊之 さん



筑紫女学園大学に勤め、人権に向き合いつつ太宰府市に関わっている者として紙幅をいただきました。また、住職を兼務しているのですが、この地で創作を続けられた尊敬する彫刻家、富永朝堂先生が拙寺のご門徒で、幼い頃から深いお言葉を聞かせていただいております。今もご家族には大変お世話になっております。少し書かせていただきます。

今、まず私たちは、コロナ禍の中で、大変な暮らしを強いられている人がいらっしゃるということに思いを馳せなければなりません。ニューノーマルと語られる新たな生活様式において、私的な生活の中に引き籠りがちな私たちに、コロナ禍に打ちひしがれている方々の姿は見えていでしょうか。ソーシャルディスタンスがそのまま、困難な状況にある人びとへの距離となっていないでしょうか。想像してみたいと思います。大変な生活を送っている人が、「今は誰もが皆、大変なのだから」と、「助けて」と声を挙げることを「自粛」しているのではないかと。

コロナ禍は、私たちの社会に、関係性の希薄化という腐食をもたらしています。だからこそ、私たちは今一度「どう生き合うのか」ということについて問いたいと思います。

市政ニュース

子ども・学生の協力 小中大学生がワクチン接種予約をサポート！

本市では、新型コロナウイルスワクチン接種について、「スムーズな予約」「スムーズな移動」「スムーズな接種」という3つのコンセプトをもとにした「太宰府モデル」を構築し、総力を挙げて実践して来ました。

電話予約に比べてスムーズに予約が可能なネット予約を進めるため、お困りの高齢者の方々の予約を、小中学校、大学生の皆さん方に手伝ってもらい取り組みを行い、全国放送でも取り上げられました。

太宰府中学校では、おじいさんやおばあさんはもちろん、ご近所の高齢者の方々のサポートも行ってもらおうと、一人一台配っているタブレットを使ったICT授業も兼ねて実際に予約を体験する授業が行われました。

少しでも高齢者のお役に立ちたいと、生徒のみなさん方は真剣に取り組んでいました。

本市の65歳以上のワクチン接種券については、一日置きに分散郵送を行いました。電話予約は混雑しやすいので、このサポートは大変ありがたいことでした。



タブレットで予約入力を体験する生徒の皆さん

5月と6月の土日、2週間にわたり、市役所に予約サポート窓口を開設し、日本経済大学の学生の皆さん方にもサポートを行っていただきました。

大学生にサポートしてもらった方は、「電話は混雑していました。一方、ネット予約はとても苦手だったので、このようなサポートは大変助かります」と話していました。

少しでもスムーズな予約が行われ、その後のスムーズな移動スムーズな接種につなげていけるよう努力してまいります。



予約入力サポートのようす

超成長戦略 令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト始動！

コロナ禍の中ではありますが、本年度の目玉事業の一つであります令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクトも着々と進めております。先日は福岡農業高校の生徒たちと、天平の世大伴旅人が梅花の宴を催したとされる大宰府政庁跡にて梅の実の収穫を行いました。

これまでこうした史跡地の梅など果実は、国の規制のため商業利用が制限されていたのですが、昨年末ようやく規制緩和を勝ち取りました。これを機に、この令和発祥の都太宰府の梅をブランディングし、梅酒やスイーツ、ご当地グルメなどに仕立て上げる計画です。

今後新たな梅の木を植栽するにあたり、一本一本に命名権と収穫体験、プロダクト贈呈などをセットにしたふるさと納税も募集します。こうした地場みやげ産業とふるさと納税の振興により、飛躍的税収の拡大につなげてまいりますので、今後の展開にどうぞご注目ください！



たくさん梅が収穫できました！

団体からの寄附 メモリアルパークから寄附金贈呈

公益財団法人太宰府メモリアルパークから、太宰府BeautifulHarmonyファンド（新型コロナウイルス対応事業）への活用にとのご意向のもと、多額の寄附をしていただきました。

同法人には、これまで多くのまちづくりへの参画をいただいております。平成28年には「太宰府悠久の丘～メモリアルパークからの眺望～」として、市民遺産第12号にも認定され、施設周辺環境整備や周知活動にもご尽力いただいております。

寄附金贈呈にあたり、本田勇一郎理事長は「コロナ対策の費用として使っていただき、一刻も早い収束を願っています」と話しました。

本市ではこれからもワクチン接種希望者の早期完了をめざし、職員一丸となってコロナ対策に全力で取り組みます。



左から本田勇一郎理事長、楠田市長。

民間との連携 ヤマト運輸(株)と「高齢者等の見守りに関する協定」締結

4月28日(水)ヤマト運輸(株)と「高齢者等の見守りに関する協定」を締結しました。この協定は、日頃の地域住民による見守り活動に加え、各家庭を訪問する機会が多い事業者が日常業務を通じて、高齢者などの異変を察知した場合に、市に通報し、早期に問題解消することを目的としています。

日頃から既存の宅配便ネットワークを活用した高齢者の見守り活動などを全国的に展開するヤマト運輸(株)との協定締結をきっかけに、これまで以上の見守り体制の強化と安心して暮らせる地域づくりに努めます。



前列左からヤマト運輸(株)久龍猛志久留米主管支店主管支店長と楠田市長。

民間との連携 (株)ナフコとの「災害時における物資供給に関する協定」締結

本格的な出水期を前にして、5月24日(月)、(株)ナフコと「災害時における物資供給に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害発生時に、復旧活動や避難場所などで使用する物資（作業用資材のほか、食料品、飲料水、日用品など）の迅速かつ円滑な供給・調達を目的としています。

本市では、本協定を含め災害時に備えさまざまな協定を締結しています。大規模災害時に、行政のみで対応できることには限りがあります。このため、平常時から企業・団体などと協力関係を結び、災害時の速やかな応急対策活動・支援協力体制を構築しています。



左から(株)ナフコ 石田卓巳代表取締役社長、楠田市長。